

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公開番号】特開2012-253860(P2012-253860A)

【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2011-122853(P2011-122853)

【国際特許分類】

H 02 M 5/293 (2006.01)

【F I】

H 02 M 5/293 Z

H 02 M 5/293 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多相交流電力を交流電力に直接変換する電力変換装置であつて、

前記多相交流電力の各相に接続されて双方向への通電を切り換え可能にする複数の第1スイッチング素子と、前記多相交流電力の各相に接続されて双方向への通電を切り換え可能にする複数の第2スイッチング素子と、を有する変換回路と、

前記変換回路に接続された複数のコンデンサと、を備え、

前記第1スイッチング素子及び前記第2スイッチング素子のそれぞれに対応する前記多相交流電力の各相の間に、前記第1スイッチング素子及び前記第2スイッチング素子のそれぞれに対して少なくとも一つの前記コンデンサが設けられ、

前記多相交流電力の各相に対応した複数の入力側のバスバーが並列に配置されており、

各バスバーは、同じ相に対応する前記第1スイッチング素子の入力端子と前記第2スイッチング素子の入力端子とを互いに接続しており、

各相の間において、前記バスバーの前記第1スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つの前記コンデンサが配置され、前記バスバーの前記第2スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つの前記コンデンサが配置されている電力変換装置。

【請求項2】

前記第1スイッチング素子と前記第2スイッチング素子は、空間的配置として、前記変換回路の出力線に対して並列に配置されている請求項1に記載の電力変換装置。

【請求項3】

同じ相に対応する前記第1スイッチング素子の出力端子と前記第2スイッチング素子の出力端子とが並んで対になって配置され、

前記複数のコンデンサは、空間的配置として、対になって配置された前記第1スイッチング素子の出力端子及び前記第2スイッチング素子の出力端子に対して外側に配置されている請求項1又は2に記載の電力変換装置。

【請求項4】

前記第1スイッチング素子に接続されたコンデンサと、前記第2スイッチング素子に接続されたコンデンサとが、互いに接続されている請求項1～3のいずれか一項に記載の電力変換装置。

**【手続補正2】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0006**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0006】**

本発明は、多相交流電力の各相の間ににおいて、入力側のバスバーの第1スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つのコンデンサを配置し、前記バスバーの第2スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つのコンデンサを配置することによって上記課題を解決する。

**【手続補正3】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0007**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0007】**

本発明によれば、スイッチング素子のそれぞれにコンデンサを近接して配置できるので、コンデンサとスイッチング素子との配線距離を短縮することができる。